

令和 5 年度
(第 12 事業年度)
事業報告

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

公益財団法人ソルフェージュスクール

「令和5年度事業報告」目次

要旨	・・・・・・・・	1
《事業活動》		
ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業1）	・・・・・・・・	2
1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営		
（1）ソルフェージュに関する指導等および各種楽器、声楽等の実技指導		
【“ウフ”のレッスン】	・・・・・・・・	2
【“ソルフェージュ&ABC”のレッスン】	・・・・・・・・	2
【子どものコーラス“レ・テタール”のレッスン】	・・・・・・・・	2
【ソルフェージュ、器楽及び声楽のレッスン】	・・・・・・・・	3
【若者たちのための室内楽クラスのレッスン】	・・・・・・・・	3
【合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】	・・・・・・・・	3
【コーラス“レ・グルヌイユ”のレッスン】	・・・・・・・・	3
【リコーダーアンサンブルのレッスン】	・・・・・・・・	3
【ピアノアンサンブルのレッスン】	・・・・・・・・	3
【春のミュージックキャンプ】	・・・・・・・・	4
【夏季合宿】	・・・・・・・・	4
【楽しくアンサンブル】	・・・・・・・・	4
【大人の音楽の時間】	・・・・・・・・	4
（2）ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及	・・・・・・・・	4
①通常プロジェクト		
【ソルフェージュスクール演奏会】	・・・・・・・・	4
【前期おさらい会】 【後期おさらい会】	・・・・・・・・	5
【研究会】 【試演会】	・・・・・・・・	5
【講師によるコンサート】	・・・・・・・・	5、6
【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】	・・・・・・・・	6
②地域プロジェクト	・・・・・・・・	6
（3）ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等広報の充実	① ② ・・・・・・・・	6、7
同上	③～⑩ ・・・・・・・・	7、8
2. 音楽ホール、練習室の貸与	・・・・・・・・	8
3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、後援会開催	・・・・・・・・	8、9
《管理部門》		
1. 法人としての諸会議	・・・・・・・・	10、11
2. 公益財団法人の情報公開	・・・・・・・・	11
3. 業務執行体制の強化	・・・・・・・・	11
4. 付属証明書について	・・・・・・・・	11

要 旨

令和5年春からコロナ禍は5類に移行し、行動制限なしの平常対応となったが、コロナ禍が及ぼした社会的な困難は続いた1年だった。

音楽で豊かな心を持つ人材の育成を教育の核としている当スクールでは、社会的な活動が困難な時期だからこそ音楽が心を温かく、豊かにしてくれることを強く伝えた。

コロナ禍で体験活動が減ると、子どもは生きる力や心の余裕を育むことができません。そのような状況に置かれた幼児・子どもが参加できる“ウフ”、“ソルフェージュ&ABC”及び子どもコーラス“レ・テタール”を充実させ、そして新たな“ちびっ子コンサート”を開催し、音楽を身体と心で感じとる体験をしてもらった。そして、これらのクラス、コンサートの実体験からソルフェージュ、器楽のレッスンへの移行を後押しするために、レッスン見学や無料体験をアピールした。

また、新設した“若者たちのための室内楽クラス”では、若い年齢層の生徒にアンサンブルを楽しく学んでもらった。同じく新設した“ピアノアンサンブルクラス”では、3階ホールにある2台のピアノを活用し、他ではなかなか実施が難しい2台のピアノによる二重奏レッスンを実現させた。

さらに、コロナ禍のため通い合宿としていた夏季合宿を従来の宿泊合宿形式で実施でき、たいへん充実した成果を得た。

前述例は一部であるが、すべてのレッスン及び行事を平常時の従来の形式で実施できたこと、また新設クラスを加えることができたことで、当スクールが目的とする音楽教育が充実し、本来のスクールらしさ・特色を取り戻すことができた。

昨年に引き続き、広報関連、“ウフ”からの一貫した音楽教育に力を入れ、また財政面においては篤志家の援助もいただきながら、事業の充実を図ると共に経費削減の努力をし、当財団のユニークな教育の継続に力を尽くした1年であった。

《事業活動》

ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業1）

1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

当財団の運営するソルフェージュスクールにおいて下記の事業を行う。

（1）ソルフェージュに関する指導等及び各種楽器、声楽等の実技指導

ソルフェージュの研究の促進及び指導者育成を目的として研究者、指導者及びこれから研究、指導を目指す者、また関心のある一般を対象としたレッスン、講習会、音楽会等を開催した。いずれも一般に公開した。

当法人が開発したソルフェージュットやリズムカード及び以前フランスで使われていた教本を翻訳・復元した教材等を用い、ソルフェージュスクールカリキュラムに沿って、具体的にリズム・拍・音程を習得させ、読譜力・視唱力・聴音力を身に付けさせた。それに器楽、声楽等の実技指導及び年数回の特別講習会を加え、音楽文化の理解を深めさせつつ実技を習得させた。

また、当スクールの教育の一端に触れてもらい入室を促すために、無料のレッスンの見学や体験レッスンを積極的に勧めた。

完全なコロナ禍の収束ではないので、最大限の感染予防対策を講じながら、平常時のレッスンと事業を行った。

【“ウフ”のレッスン】 一般対象 延べ受講者数 66名

*0歳児から5歳児とその保護者を対象で月1回日曜日に行う音遊び。
年10回実施した。

【“ソルフェージュ&ABC”のレッスン】 一般対象 延べ受講者数 21名

*小学校1～4年生を対象で月1回日曜日に行うソルフェージュと英語のコラボ。
年10回実施した。

【子どものコーラス“レ・テタール”のレッスン】 一般対象 延べ受講者数 48名

*小学生から高校生対象で月1回日曜日に行う。年10回実施した。

【ソルフェージュ、器楽及び声楽のレッスン】 延べ受講者数 542 名

1 学期	4 月 5 日（水）～ 7 月 22 日（土）
2 学期	9 月 6 日（水）～ 12 月 22 日（金）
3 学期	令和 6 年 1 月 12 日（金）～ 3 月 23 日（土）

*原則として、週 1 回のレッスンとし、夏季レッスン日各曜日各 1 回（器楽受講者のみ）を含め、年間合計で 41 回実施した。

【若者たちのための室内楽クラスのレッスン】 一般対象 延べ受講者数 103 名

アンサンブルを体験し楽しむためのレッスン。若い年齢層の参加を促した。年間 21 回のレッスンを実施した。原則として日曜日に開催した。

1 学期	4 月 16 日, 30 日、5 月 14 日, 21 日、6 月 4 日, 11 日、7 月 9 日
2 学期	9 月 17 日、10 月 1 日, 15 日、11 月 5 日, 19 日、12 月 10 日, 17 日
3 学期	令和 6 年 1 月 14 日, 21 日、2 月 4 日, 18 日、3 月 3 日, 17 日, 20 日

各学期毎に成果を発表した。

1 学期：6 月 11 日 ソルフェージュスクール演奏会

2 学期：12 月 17 日 クリスマスコンサート

3 学期：3 月 20 日 春のおさらい会

【合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】 一般対象 延べ受講者数 101 名

成人受講生対象で月 2 回の日曜日、弦楽合奏のレッスンと小グループによる室内楽のレッスンで、原則として月 2 回とし 8 月は休み。年間合計で 22 回実施した。

4 月 9 日, 23 日、5 月 7 日, 21 日, 28 日、6 月 4 日, 25 日、7 月 23 日、8 月 27 日、9 月 10 日, 24 日、10 月 1 日, 8 日、11 月 12 日, 26 日、12 月 3 日, 10 日、令和 6 年 1 月 14 日、18 日、2 月 11 日, 25 日、3 月 10 日
--

【コーラス“レ・グルヌイユ”のレッスン】 一般対象 延べ受講者数 263 名

成人受講生対象で月 1 回土曜日に行い年 11 回実施した。

【リコーダーアンサンブルのレッスン】 一般対象 延べ受講者数 41 名

成人受講生対象で原則として月 1 回。曜日及び時間は参加者が相談して実施した。

【ピアノアンサンブルのレッスン】 一般対象 延べ受講者数 20 名

3 階ホールの 2 台のピアノでアンサンブルを学ぶ。前後期それぞれ 5 回のレッスンに 1 回の発表演奏とした。

前期 5 月 14 日、6 月 18 日、7 月 2 日、9 月 17 日、10 月 15 日
10 月 22 日 秋のおさらい会で発表演奏

後期 11 月 5 日、令和 6 年 1 月 21 日、2 月 4 日、3 月 3 日, 17 日
3 月 20 日 春のおさらい会で発表演奏

【春のミュージックキャンプ】 一般対象 受講者2名

4月1日(土)、2(日)2日間 当法人ホール及び教室

普段の個人レッスンではなかなか取り組めないアンサンブルの経験を積むための2日間の講座。2名の受講生と講師の組合せを工夫し、用意された曲を勉強した。

【夏季合宿】 一般対象 受講者9名 ゲスト講師4名

8月10日(木)～13日(日) 軽井沢・友愛山荘

中学生以上を対象として毎年行う合宿だが、久しぶりに外部での宿泊合宿となった。弦とピアノの二重奏、ピアノ連弾。弦楽四重奏・五重奏、うた、全員によるコーラスまで様々な形式の曲を勉強した。アンサンブルや合奏を通じて、音楽の勉強に留まらず、相手への思い遣りなどを自然に身に付けられるようなプログラム構成であった。最終日に、合宿の成果を参加者全員で発表するコンサートを開き、公開した。

【楽しくアンサンブル】 一般対象

夏季	7月17日(月・祝)	当法人ホール及び教室	受講者7名
冬季	11月23日(木・祝)	同上	受講者12名

小3以上を対象とし、初見で演奏する力を養うためのアンサンブルによる1日の講座で7月と11月の2回開催した。個々の参加者の実力に合わせて無理なく楽しく、事前に楽譜を渡して個人練習をした上で、その場でのアンサンブルの体験を積むように指導者が導いた。複数回受講経験者の初見及び音楽的な演奏の進歩には顕著なものがある。夏季、冬季いずれも短時間の内に濃い内容を指導することができた。

【大人の音楽の時間】 一般成人対象

環境が整わず実施できなかった。

(2) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及

① 通常プロジェクト

【ソルフェージュスクール演奏会 6月11日(日)日本橋公会堂】出演者83名

ソルフェージュスクールの受講生全員が、リトミック、室内楽、器楽合奏、弦楽合奏、合唱等のいずれかに出演し、来場者にソルフェージュの教育を理解してもらう重要な機会であった。とくに、今回新たに加わった「若者たちのための室内楽クラス」の演奏は、当スクールが大事にしてきたアンサンブルの楽しさを強く印象づけるものだった。

【前期おさらい会 10月22日（日）当法人ホール】出演者15名

【後期おさらい会 令和6年3月20日（水・祝）当法人ホール】出演者28名

10月と3月の前後期に分けて開く発表会で、器楽、声楽を学ぶソルフェージュスクールの受講生の演奏を一般公開し、本校での教育の特徴を見てもらった。

器楽、声楽を学んでいる受講生（主に個人レッスン）は少なくとも年1回は人前で演奏披露することで、普段とは違う学習と練習を体験する大切な場であり、また生徒同士、保護者、教師にとっては個人レッスンの進捗状況を知る良い機会であった。

後期おさらい会では、ピアノアンサンブルクラスの生徒による演奏が披露された、2台のピアノによる二重奏はこれまでのおさらい会ではなかったもので、とても新鮮で楽しい演奏だった

【研究会 9月と2月に開催予定 当法人ホール及び教室】

ソルフェージュ、器楽の教授方法、教本の使い方や生徒への対応の仕方など、時々テーマを設けて講師一同が意見の交換をしてレッスンの質の向上を目指すための研究会であり、年2回開く予定であったが、今回は講師の日程が合わず実施できなかった。

【試演会 令和6年1月21日 当法人ホール】

講師有志等の独奏或いはアンサンブルによる演奏を聴き合い、日頃教える立場にある者がお互いに具体例をもって意見を述べ合うことで良い研修の機会とする会で、講師が自発的に企画し実施した。非公開で行った。

今回は、4名の講師が参加し、ヤナーチェク：小品2曲／ピアノ、ベートーヴェン：ロマンス／ヴァイオリンとピアノ、プーランク：メランコリー／ピアノ の演奏があり、意見交換し、知識や技能を高めることができた。

【講師によるコンサート】

＜春のコンサート 4月29日（土・祝）当法人ホール（有料）＞来場者50名

＜クリスマスコンサート 12月17日（日）当法人ホール（有料）＞来場者44名

いずれのコンサートも「音楽はソロだけではなく合奏の楽しさを味わい、音楽の喜びを得る」というソルフェージュスクールの目標のひとつをソルフェージュスクールの講師が自らの演奏によって、より多くの方へ伝える目的が果たせたコンサートであった。

＜春のコンサート＞では、2台のピアノによる二重奏、ピアノ独奏、クラリネットとピアノ、うたとクラリネットとピアノのアンサンブル演奏であった。

＜クリスマスコンサート＞では、ヴィオリンとクラリネットとピアノのアンサンブル、ヴァイオリンとピアノのアンサンブル、若者たちのための室内楽クラスの弦楽合奏、室内楽メンバーによる弦楽三重奏、そしてうたとヴァイオリンとクラリネットとピアノのアンサンブルと濃密なプログラムだった。

【ちびっ子コンサート】 9月23日：来場者41名
令和6年2月23日：来場者39名

主な対象は乳幼児から小学生だが、大人が聴いても楽しめるコンサート。音を立てずに静かに音楽を楽しむという一般的な考えとは真逆に、音楽に合わせて身体を動かし、触れあい、自由に表現、それぞれの感性で音楽を楽しむ場を当スクールの3階にある素晴らしいホールが提供した。子どもたちは楽器を触ったり、うたをくちずさんだり、映像を見たり、絵本朗読を聞いたり、五感をフル稼働し、身体を自由に動かし、音楽が子どもたちの心を豊かに満たすコンサートだった。

【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】 一般対象（原則として有料）

ソルフェージュスクールで学び、プロとして活躍中の演奏家を講師として招き特別講習会を開く予定であったが、日程調整ができず実施できなかった。

② 地域プロジェクト

児童及び高齢者を対象とした地域プロジェクトの一つである豊島区のNPO法人富士見台ひろば主催のクリスマスコンサート等へ協力をした。

(3) ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等広報の充実

ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜、楽器を購入すると共にソルフェージュの普及のため研究成果及び教育内容などの出版準備を行った。また授業、事業活動及び法人運営資料等についてはホームページに掲載し、ホームページの内容充実と更新を継続し、SNSを活用してタイムリーな情報発信を行うことと並行して新聞等の一般媒体の活用も試みた。

① SNS及び一般媒体の活用

ホームページとは別に、X、InstagramとTwitterを加えてSNSを連携させて情報発信を強化することにより、タイムリーで詳細なソルフェージュスクールの事業内容を広報した。

2023年6月22日の東京新聞に、“住宅街にひっそり名建築「ソルフェージュスクール」”の記事が掲載され、建築家・吉村順三の設計による当スクールの建物が紹介され、音楽教育の場として活用されている様子がリポートされた。

2023年12月には、大阪府建築士会発行の「建築人」12月号に、神奈川大学建築学部教授・松隈洋氏の文・写真により“吉村順三夫妻が育て上げた音楽教室”として当スクールの建物が詳細に紹介された。

そして、ギャラリーエークウッド（竹中工務店主宰）で、建築家・吉村順三の展覧会が開かれ、当スクールの建物の模型が展示された。多くの見学者が訪れ、当スクールが音楽教育の場であることが周知された。

以上の3件はHPに掲載し、広報を継続している。

② ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜等の購入

購入はなかった。

③ 「ソルフェージュスクール News Letter」の発行

当スクールの行事の報告及び予告等スクールの活動をタイムリーに広報し、またその時々音楽のコラムなどを掲載する News Letter。

今年度は、第13号（2023年4月16日発行）、第14号（2023年10月11日発行）及び第15号（2024年2月14日発行）の3回の発行で、一般に無料配布した。また、HPにバックナンバーと併せて掲載している。

④ 独自に発行したソルフェージュ指導楽譜を教材として使用し、一般に実費配布した。

シャセバン1 ￥560－（税込）

シャセバン2 ￥612－（税込）

シャセバン3 ￥440－（税込）

⑤ 新しい指導教材の開発・研究

他分野の研究グループ等と連携して、ソルフェージュ新编版等の指導教材の改良・作成等の検討及びあらゆる世代に面白いと興味を持ってもらえる音楽アプリ開発を継続した。

⑥ ソルフェージュ教育の理念を著した冊子の発行（一般に実費配布）

当財団の設立者たちがソルフェージュ教育の理念について書き残した文書類の整理し、できるだけ早急に公開できるように、web掲載、分冊発行等の準備を継続した。

⑦ ホームページの充実

広報力の強いホームページとするため。更新間隔の短縮に努め、迅速な情報伝達を強化した。音楽を心の糧にし、音楽で豊かな心を育むことで人間性を高め、日本の音楽文化を進化させていけることを強く訴えるため、内容を充実させ、随時更新に務めた。

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、各事業報告書及び収支計算書・貸借対照表他並びに各事業計画書及び収支予算書を公開している。

⑧ 他のデータシステムとの連携

文部科学省関係法人名鑑及び音楽教育関連データシステム等に登録をして当財団の周知向上を図っている。

⑨ 登録有形文化財申請について

当スクールの建物（建築家・吉村順三設計）が文化財として認定されれば、当スクールのブランディングに寄与するだけでなく、補修時の補助金・税金面等でさまざまなメリットが受けられ、広報活動で強力なカードになると考えられる。

2023年秋に申請を行い、2024年3月1日に実査を受け、認定審査結果を待っている状況にある。

⑩ 楽譜のライブラリー化

当スクールが所有する楽譜をPDF化して分類保存する。貴重な楽譜の保存だけでなく、諸行事に必要となる楽譜の活用が容易となるが、今年度は経費及び人手不足により実施できなかった。

2. 音楽ホール、練習室の貸与

当財団の所有するホール及びピアノの設置された教室（練習室）を、当財団が使用していない時間に、当財団の事業及び公益目的に合致する者に低廉な対価で貸与する。とくに、音楽学校受験生の使用費用は低価格として活用を促す。

今年度の活用はなかった。コロナ禍が尾を引いていると思われる。

3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催 一般対象（無料/有料）

【合奏及び室内楽演奏法】 原則として月1回 当法人ホール

室内楽授業を、原則として月1回、一般に無料聴講できるように公開し、合奏及び室内楽の演奏法を習得してもらうと同時にソルフェージュ教育の成果を実感してもらう。

今年度はお二人の見学・聴講があり、お二人共に室内楽クラスに入室された。

【講習会・講演会】

演奏技術のみならず演奏家の逸話、音楽史等々広範囲な内容とする。

海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流の場として開催予定の特別講習会はこの一般向け講習会を兼ねる場合もある。

今年度は日程調整ができず実施できなかった。

《 管理部門 》

1. 法人としての諸会議

定款の規定に基づき、評議員会及び理事会等を開催する。

定時評議員会は令和5年6月に1回、通常理事会は令和5年5月及び令和6年2月の2回、それぞれ開催した。

今年度の諸会議の内容は以下の通りだった。

【令和5年5月17日 決算監査】

開催方法：ZOOM会議

出席等：監事2名出席

【令和5年5月24日 令和5年度 第1回通常理事会】

開催方法：ZOOM会議

決議事項：1.令和4年度事業報告及び決算並びに令和4年度事業報告書等に係わる提出書類の承認決議

2.令和5年度定時評議員会の招集決議

1. 日時：令和5年6月7日（水） 13：00～13：40

2. 開催方法：ZOOM会議

3. 議題：1. 令和4年度事業報告及び決算並びに令和4年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議

4. 報告：1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告

2. 資産の管理運用状況の報告

3. 令和5年度事業計画及び収支予算書等の報告

出席等：理事6名出席、監事2名出席

【令和5年6月7日 令和5年度 定時評議員会】

開催方法：ZOOM会議

決議事項：1. 令和4年度事業報告及び決算並びに令和4年度事業報告書等に係わる提出書類の承認決議

報告事項：1. 資産の管理運用状況の報告

2. 令和5年度事業計画及び収支予算書等の報告

出席等：評議員4名出席 1名欠席、監事2名出席、理事6名出席

【令和6年2月21日 令和5年度 第2回通常理事会】

開催方法：ZOOM会議

決議事項： 1. 令和6年度事業計画及び収支予算書等の承認決議
2. 特別寄付金の承認決議

報告事項： 1. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告

出席等：理事6名出席、監事2名出席

2. 公益財団法人の情報公開

現在公開中のものに加え、令和5年度事業報告書及び計算書類等、令和6年度事業計画書及び収支予算書等をwebサイトで情報公開した。

また、「ソルフェージュスクール NEWSLETTER」を年3回発行し、当スクールの活動状況を公開した。

3. 業務執行体制の強化

組織運営体制を充実させ、業務執行体制を強化して、数年続いているコロナ禍及び諸経費高騰等の経済環境悪化で低調な運営状況の回復に全力を注いだ。

また、勤務契約、業務委託契約等の内容を的確なものとするなど、コンプライアンスの強化に努めた。

4. 附属証明書について

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属証明書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。